

夏休みスペシャル・小奴可の里自治振興区・読書感想文まつり

いえが一ばん

1年 加藤 綾真

『どろんこハリー』をよみました。ひょうしのハリーのようなかわいかったからです。ハリーはくろいぶちのある白い犬です。なんでもすきですが、おふろは、きらいです。ある日、いえをどび出したハリーは、せきたんトラックでくろくよごれてしましました。それでも、すべりだいや、ほかの犬たちとおにごっこをして、白いぶちのあるくろい犬になりました。いえにかえっても、よごれたハリーを、だれもわかってくれません。とくいのがいとうをやってもだめでした。だれもわかってくれないので、ハリーは、きらいなおふろにとびこんできれいななり、やっといえの人に、ハリーだとわかってもらうことができました。それから、あんなにして、でもクッションの下にブラシをかくしてねおりました。

いえの人にハリーだとわかってもらえてよかったです。ぼくもハリーのように、わかってもらえなかつたらどうしようとおもいながらよみました。いえが、一ばんいいです。

『やねうらべやのおばけ』を読んで

2年 宇恵 心春

この本を読んだりゆうは、おばけの絵が描いてあって、おもしろそうだったから読みました。読んでみるとちよつとこわい話でした。

わたしが心にのこった場面は、おばけが女の子の頭の上にハンカチをおとしたところでした。このページを読んで、「なんでするんだらう」と思いました。自分だったらハンカチを落とさず、声でいいいます。

『ルラルさんのたんじょうび』を読んで

3年 河上 佳奈実

私は二年生のころに読んでおもしろかったので、この本を選びました。

この本で、一番面白いと思ったところは、色んな動物たちが、プレゼントや花をあげていたことです。理由は、窓からこつそりと、入ってくるところが面白いと思ったからです。

私はあんまり本を読んでいなかったもので、もっと本を読みたいと思いました。たとえば、れき史や、小説などをどんどん読んでいきたいと思いました。

『窓のひみつ』を読んで

4年 内藤 乃々香

私は、家や学校、いろいろなところの窓のひみつが知りましたので、この本を選びました。この本のいいところは、窓の大切さを伝えているところです。理由は、窓を大切に使うことが、自分たちの窓がすくすくきれいに見えるからです。

私は、この本の、家ができたところがお気に入りです。理由は、きれいな家であったかくなるし、心が気持ちよくなるからです。

私が学んだことは、気持ちよくすごしていくことです。理由は、気持ちよくあったかく、きれいにすごしてほしいからです。

この本を読んで学んだことを、家や学校、いろいろなところで大切にしながら、すごしていきたいです。これからいろいろな本を読んでいきたいです。そして、窓を大切にしていきたいです。

『ファール先生の昆虫教室』を読んで

4年 日野 聖穂

ぼくは、昆虫が好きなので、この本を選びました。ぼくは、この本で昆虫を知りたかったので読んでみました。ぼくは、この本の「幼虫からさなぎへ」が、お気に入りです。さなぎの中でだんたんと幼虫が、どうやって、ちよつとになるかがよくわかるので選びました。

くは、この本で昆虫を知りたかったので読んでみました。ぼくは、この本の「幼虫からさなぎへ」が、お気に入りです。さなぎの中でだんたんと幼虫が、どうやって、ちよつとになるかがよくわかるので選びました。

『本当はこわい話』を読んで

5年 仲田 知花

「あせつたよ。警官かと思った。」

この話を聞いて私はゾツとした。私が読んでいるのは『本当はこわい話』の「今トイレにかくれている」です。この話は学校にナイフを持った不審者が侵入して、生徒の数がおそわれたという話です。私がゾツとした理由は、犯人は主人公だったからです。

私がこの本を読んで面白くおもったことは、ふつう、主人公は犯人ではなくて、周りの人とかだけ、この本の話は主人公にするところが、私はおもしろなと思いましたが、私も物語をつくる時には、この本のように、ふだんは主人公にしない者を主人公にしたりして書きたいと思えました。

どきどきしたこわい話

5年 横路 友亮

「こわかったー。」

ぼくは、『学校の怪談』を読みました。この中でも、「わたしの髪をかえして・・・」が、印象にのこっています。この話は、交通事故でなくなった女性がゆうれいとなつて、でてくる話です。

ぼくは、このこわい話を読んですごくこわかったです。ぼくは、れいを見たとはいけません。ゆうれいはいいなと思つています。だから、もし、出会ったらゆうれいと話をしたいです。どんな気持ちなのかをきいてみたいです。

『水をくむプリンセス』を読んで

6年 木下 咲

私が読んだ本は、『水をくむプリンセス』です。この本の主人公は、ジージーという女の子です。この本の内容は、アフリカに住むジージーが朝早くからお母さんと一緒に水を汲みに行く話です。

この本を読んで、毎日水を遠くまで汲みに行くのは大変だと思いました。私たちは、水道から水が出るから水を汲みにいなくてもいいけれど、アフリカでは水がないから遠くまで水を汲みに行かなければいけないと考えると、とても大変だと思いました。水がない国は、アフリカ以外にもたくさんあると思うし、私たちは、水をむだ使いたくないように気を付けて生活したらいいいと思います。

この本であらためて水の大切さを学んだので、これを生かして生活していきたいです。



たてわり
1班

小奴可小学校全児童・「たてわり班」ごとに4回シリーズで発表!